

試料・情報分譲申請用研究計画書(概要)					
審査委員会受付番号	2016-1015	利用するもの	情報:ゲノム情報(SNPアレイ)、アンケート情報、検査値情報		
主たる研究機関	国立がん研究センター		分担研究機関	東北大学、岩手医科大学、愛知県立がんセンター、名古屋大学	
研究題目	国立がん研究センター研究開発費「がんの個別化予防に資する日本における大規模分子疫学研究の共同研究体制構築に関する研究」		研究期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	
実施責任者	岩崎 基	所属	国立がん研究センター	職位	部長
研究目的と意義	肥満は、日本人のがん罹患リスクとして既に確立しており、Charvat等が構築した日本人のがん罹患リスクを推定する予測モデルにも、5つの生活習慣の1つとして含まれている。本共同研究では、日本人集団において肥満と関連する既知遺伝子座の確認と新規遺伝子座の同定を行い、肥満となり易い遺伝的高リスク群を同定するための基礎的資料を得ることを目的とする。				
研究計画概要	先ず、共同研究に参加する各研究グループで肥満度を対象としたゲノム網羅的関連解析を実施する。続いて、各研究グループ(多目的コホート研究(JPHC study)、がん予防・治療のための大規模病院疫学研究(HERPACC)、日本多施設共同コホート研究(J-MICC study)、東北メディカル・メガバンク計画(東北大学および岩手医科大学)から提供を受ける解析結果をもとに、本個別共同研究を提案する国立がん研究センターでメタ解析を実施し、肥満度と関連する既知遺伝子座の確認と新規遺伝子座の同定を行う。				
期待される成果	大規模ゲノムコホートの連携にかかる共同研究体制構築に関わる研究班、それぞれの研究担当チームからゲノム網羅的関連解析の結果を持ち寄り、最終的にメタ解析を行う。本研究班ではその過程で派生する問題点について洗い出し、今後スムーズな共同研究が実施できる道筋を構築する、				
これまでの倫理審査等の経過および主な議論	すでに分譲を受けている「#2014-0001-2地域住民コホートを活用した、被災地での増加が懸念される疾患の関連要因の同定」で実施するBMIの網羅的遺伝子解析結果のサマリーデータの提供を行う。				
倫理面、セキュリティー面への配慮	本研究に参加する4つの大規模分子疫学研究については、各研究チームにおいて研究計画書を定め、関係機関の倫理審査委員会の承認を受けている。データ解析は、各研究チームで行うことを原則としており、各研究チームが定めるルールに従い実施されるが、いずれの研究においても、データは個人識別を行わない連結可能匿名化した状態で扱うことを鉄則とし、個人情報の保護と安全管理には厳重に対処している。共同研究として取り扱う情報は、すべて解析済みのデータであることから倫理面でも問題は無い。一方、研究チーム間で合意のある場合は、研究対象者の個々のタイピング結果などオリジナルデータを共有し、データ解析に使用する可能性もある。その際には、データ管理の方法などを定めた研究計画書を作成し、関係機関の倫理審査委員会の承認を受けたうえで研究を実施する。				
その他特記事項					
* 公開日	平成28年12月5日				
* 東北大学東北メディカル・メガバンク事業に協力された方で、本研究に限って試料・情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。	<p>三世代コホート参加者 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 三世代コホート室 022-718-5162</p> <p>地域住民コホート参加者 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 地域住民コホート室 022-718-5161</p>				